

用語・漢字統一

表記(ひらがな)	統一表記	表記例(使用しない例)	備考
あいさつ	挨拶	あいさつ	
いう	いう	言う	話し言葉に付記する場合はこの限りではない
いかす	生かす	活かす	
いただく	いただく	頂く、戴く	使用基準として、身内には敬体表現を使用しない
いろいろな	いろいろな	色々な	「いろんな」「様々な」への置換も可
かしよ	●カ所	●か所、●ヶ所、●ケ所	「●カ国」なども同様
きました	…きました	…来ました	往來の意味での「来ました」は漢字のまま
きれつ	き裂	亀裂	材料メーカー基準に準拠
くみたて	組立	組み立て	
くみたてる	組み立てる	組立てる	
くりかえし	繰り返し	繰返し	ただし「繰返し…」と名詞が続く場合は「り」をトル
くりかえす	繰り返す	繰返す	
こと	こと	事	
さまざま	様々	さまざま	
さび(る)	さび(る)	錆、錆びる	「防錆」などの単語化しているものはそのまま漢字とする
さらに	さらに	更に	
していく	…していく	…して行く	
してくる	…してくる	…して来る	
すきま	すき間	隙間、透間	
すでに	すでに	既に	
すなわち	すなわち	即ち	
せんだん	せん断	剪断	
ただし	ただし	但し	
たわみ	たわみ	撓み	
ともに	ともに	共に	
など	など	等	「等々」も「など」に統一する
にほんばねがっかい	当学会	日本ばね学会	正式名称が必要な場合はこの限りではない
ねじる	ねじる	捩る	「ねじれ」も同様
ばねがっかい	当学会	ばね学会	正式名称が必要な場合は国名なども正確に表記する
ばらつき	ばらつき	バラツキ	
ひずみ	ひずみ	歪、歪み	
ひっぱり	引張り	引っ張り、引張、ひっぱり	ただし「ひっぱる」は「引っ張る」とする
ほか	ほか	他	
ほんねん(ど)	今年度	本年(度)	
まいります	まいります	参ります	
まき	巻ばね	巻きばね	「巻数」なども同様。「まく」は「巻く」とする

表記(ひらがな)	統一表記	表記例(使用しない例)	備考
めっき	めっき	メッキ	
やきいれ	焼入れ	焼入、焼き入れ	
やきもどし	焼戻し	焼戻、焼き戻し	
ゆえん	ゆえん	所以	
よい	よい	良い	品質などの良否をいう場合などはこの限りではない
らせん	ら旋	螺旋	
わが	わが	我が	
わかる	わかる	分かる、判る	技術的に「分割」との混同を避けるためひらがなとする
わずか	わずか	僅か	
わずらわしい	わずらわしい	煩わしい	
わたる	わたる	亘る	
われわれ	私たち	我々	「我々」は使用せず、「私たち」に統一する
sec	s	sec(秒を表す単位)	現在の表記に統一
t	s	t(秒を表す単位)	現在の表記に統一
アクチュエータ	アクチュエータ	アクチュエーター	
コンピュータ	コンピュータ	コンピューター	
スタビライザ	スタビライザ	スタビライザー	
センサー	センサー	センサ	
モーター	モーター	モータ	
ローラー	ローラー	ローラ	
●次元	(漢数字)次元	2次元、3次元…	
第●次	第(漢数字)次	第1次、第2次…	
●つ目	●つ目	●つめ	

表記規定

NO.

項目

- 1 企業名や個人名に敬称(例:様)を付けない。個人名の場合は「氏」または「さん」とする。
- 2 執筆者名のところは、正式に会社名・団体名とし、本文中はカッコ付きとする(例:株式会社→(株))

備考

会員に向けた表記は「皆様」でなく「皆さん」とする。

コーナータイトル

コーナータイトル名	内容	備考
巻頭言	旬な人(主に役職者)のメッセージ	記事内容は、「ばね」または「関連する業界など」に関するものとする。
行事報告	当学会の行事の報告	
講演会報告	当学会主催の講演会の報告	
イベント参加報告	当学会が出展または会員が参画した展示会・イベントの報告	
展示会レポート	当学会に関連のある展示会の視察レポート	
会員紹介(研究室紹介、地域紹介)	会員企業、研究室、会員企業にゆかりのある地域などの紹介	
自由投稿	会員他からの自由投稿(ジャンルは問わないが、品位を損なわないものとする)	
特許情報	特許庁からキーワードにより抽出して配信されたデータ(ニッパツが契約して入手)をそのまま掲載する(表記などは変えないこと)	
学会の動き	委員会ほか、当学会で行われた会議などの記録を掲載	
技術トピックス	直接・間接を問わずばねに関する論文や講演要旨など	「テクニカルレビュー」と統合